



SHINGO

INFORMATION SHINGO No.191

しんごう



2012 (平成24年)
FEBRUARY

発行/新郷村 編集/総務課 〒039-1801 青森県三戸郡新郷村大字戸来字風呂前10 ☎0178-78-2111
新郷村ホームページ <http://www.vill.shingo.aomori.jp>

2月1日 手打ちそば作り (関連記事は5ページ)

平成23年度 新郷村常会長会議



2月2日、山村開発センターで「平成23年度新郷村常会長会議」が開かれ、村内43の常会から40人の常会長が出席し、意見交換等を行いました。

高橋勝川代日向常会長による村民憲章唱和の後、須藤村長があいさつ。観光資源のPRや生活支援事業等これからの村の事業について、自身の考えを表明。村の課題や財政の現状、新年度の事業等につ

いて説明しました。

村からは交通災害共済や常会長名簿の取り扱い等について連絡。出席者からは雪折れ間伐事業、道路整備、除雪方法、常会による集金のあり方等、様々な意見、要望が出されました。

閉会にあたり村長は「貴重な御意見を頂いたことに御礼申し上げる」と謝意を述べ「要望等については可能な限り取

り組んでいきたい。今後みなさんの協力を得て、行政の推進のため職員共々取組んでいく」と力強く述べました。

冒頭、細川正敏新郷駐在所長が最近の五戸署管内の交通事故発生状況や村内で発生した犯罪などについてわかりやすく解説。三ツ岳スポーツクラブのクラブマネジャー八戸由美子氏が今後の活動計画等について説明しました。



平成24年第1回 新郷村議会臨時会

平成24年第1回新郷村議会臨時会が2月10日開かれ、議案3件が原案通り可決されました。

主な結果は次のとおりです。

◇村診療所の「X線撮影装置・CRシステム」購入契約が締結されました。購入金額は1470万円です。

◇平成23年度新郷村一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ71万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額は26億3745万9千円となりました。主なる内容は次のとおりです。

歳入

・地方交付税 71万7千円

歳出

・社会福祉費備品購入費 15万円

・社会福祉費燃料費 50万円

◇村教育委員会委員に次の方が同意されました。

菊池秀悦氏

(五戸町字正場沢)

任期は平成28年2月13日までです。

村の特産品をPR

1月25日、村の「飲むヨーグルト姫」は三村知事を訪ね、村特産品のトップセールスをお願いしました。6名の姫たちは須藤村長や平霞観光

協会長等が見守る中、飲むヨーグルトや長芋焼酎、自然薯、新郷スイーツセットを知事へ手渡し、販路拡大の協力をお願いしました。

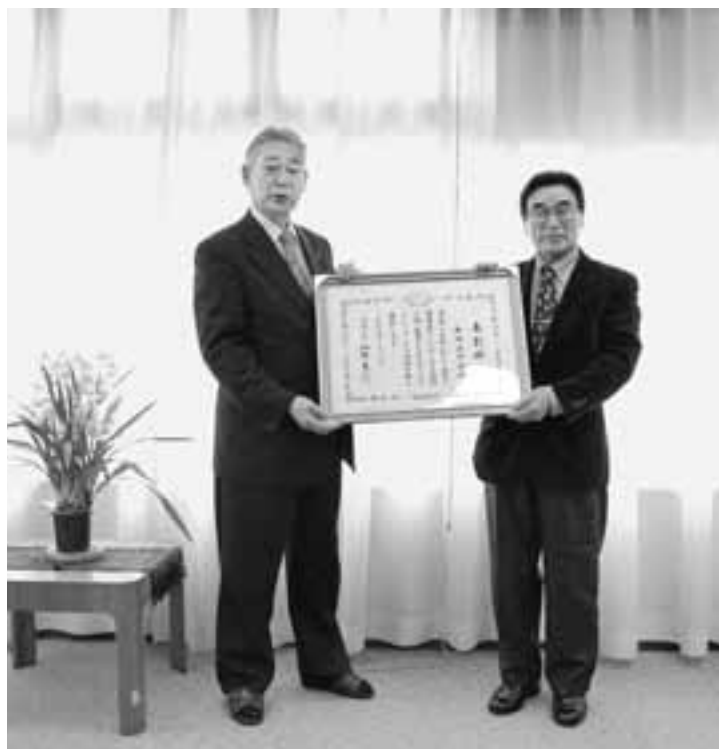


環境大臣表彰を受賞

1月18日、東京都港区内のホテルにおいて、新郷遊魚会（梅川和雄会長 会員数140人）が行っている環境美化活動が功績顕著と認められ、細野豪志環境大臣より表彰されました。

今回は保育園児や小中学生も会員と一緒に汗を流し、環境保護の精神を次世代へ受け継いでいく日頃の活動が高く評価されました。

表彰翌日、役場において須藤村長へ受賞報告をした梅川会長は「光栄の至り。日頃の活動を理解し、協力してくれた地域の方と一緒に慶びを分かち合いたい」と笑顔を見せていました。



良質の子牛生産をめざし

14頭の繁殖和牛を導入

平成23年度原子燃料サイクル事業推進特別対策事業（拡充・充実枠）の助成金を充当



高品質で生産性の高い肉用牛群への改良をめざした「新郷村優良繁殖和牛導入支援事業」が行われ、鹿児島県のさ

つま中央家畜市場で買付けた黒毛和種繁殖牛14頭が2月9日、村に到着し、村内の畜産農家へ引き渡されました。事

業は2年ぶりに実施。厳しい冷え込みの中、役場前で開かれた引渡式では「導入された繁殖和牛の肉量肉質兼備の高

能力に大きく期待している」と須藤村長。村肉用牛生産組合の佐藤節雄組合長は「購入した牛はいずれも立派な繁殖

素牛。しっかりと育成することとで期待に込めたい」と村へ感謝の言葉を述べました。

買い付けは2月5日から8日にかけて畜産農家や関係者等10名が鹿児島県さつま町を訪問し、行われました。

14頭は生後1年未満の雌でいずれも「安福久」「勝忠平」等、知名度の高い種雄牛の産子。村畜産業の更なる発展が期待されます。



2月6日 薩摩中央家畜市場

豊かな食生活をめざして

2月1日、山村開発センターにおいて、新郷村生活改善推進協議会（佐藤久美子代表）による「調理実習」が行われ、会員20名が「手打ちそば作り」に挑戦しました。

講師は川代地区の鬼蓮庵主

の山岸義一さん。エプロンに三角巾姿の受講生は、ていねいな指導のもと、こね鉢、のし棒、そば切り庖丁などを用いて「二八そば」を仕上げました。お昼の会食には村長、産業建設課長を招き、打ちた

てのそばの味を楽しみました。午後はだんご作り。昨年習ったことを思い出しながら5班にわかれて行いました。とても上手にでき、試食の時はそれぞれの班のだんごを食べ比べました。



心臓や呼吸が止まってしまったら・・・



2月5日、美郷館において「村消防団幹部団員普通救命講習会」が行われました。西分遣所の木村和雄所長を含む8名を講師に迎え、団員50名が救命に必要な応急手当を3時間にわたり、真剣に受講しました。

「村」がテーマの 絵本完成

1月17日、役場において、新郷中学校の生徒4名が村の歴史や特産品などをテーマにして制作した「村手作り絵本」を須藤村長、八戸短大田端利則教授等関係者に披露しました。手作りで絵本を制作することにより村の歴史や現状・課題・将来像などを調べ、子どもから高齢者まで村の理解を深めることが目的。昨年9月から総合的な学習の時間を利用して、八戸短期大学等の協力を得て、1・2年生、34名が取り組みました。この日は、齋藤穂高君、小坂いのりさん、田沢青輝君、畠山渚さんが遠藤美知子校長とともに訪問。完成までに9時間をかけた労作を紹介しました。



齋藤君は村の特産品「きのこ」を題材とした絵本を制作。軽快な口調で朗読し、出席者の拍手を浴びていました。八戸大学は県の委託事業として取り組む「地域力再生・創出資源調査分析」事業として本村に関わっています。事業の一環として統合で廃校になった村の小・中学校や現存する小・中学校の校歌をパソコンで再現したCDを終了後、須藤村長へ手渡ししました。

交通ルールを守ります



1月16日、しんごう保育園（中村秀俊園長）において「交通安全感謝の集い」が開かれました。これは日頃、子どもたちの安全を見守っている方々に感謝の気持ちを伝えると共に、今後も安全で安心な地域づくりの推進を願うことが目的で同園が主催し、行いました。

ランティア等5名に感謝状と、園児たちがお絵描きでデザインした鉢に入れた花を園児が手渡ししました。受賞者を代表し、須藤良美村長が「明るい社会、明るい家庭づくりのために、事故に遭わないでください」とあいさつ。園児全員で登壇し、「交通ルールを守ることを誓います」と誓いの言葉を述べました。感謝状を授与された

方は次のとおりです。

新郷 村 長

須 藤 良 美

五戸地区安協戸来支部長

長 根 哲 美

五戸地区安協西越支部長

横 沢 満

新郷警察官駐在所長

細 川 正 敏

村交通安全母の会連合会長

角 岸 千穂子



日本のまつり ふるさとの味

1月7日から15日までの9日間、東京ドームにおいて「ふるさとまつり東京2012」（フジテレビジョン等主催）が開催され、本村のふるさと活性化公社と朝市工房福岡が出席し、村の魅力を来場者に盛大にPRしました。

参加団体は全国から300店以上。本村は八戸広域観光推進協議会の加盟市町村らと一緒に一塁ベース付近の一角にブースを設置。「飲むヨーグルト」や「布ぞうり」、このほど発売された「生キャラ煎餅」等を紹介し、大勢の来場者の熱い視線を浴びていました。

首都圏でも認知度が急上昇している「飲むヨーグルト」は大好評。9日間を通じて購入者の列が途絶えることはなく、最終日の午後3時過ぎには完売しました。

販売スタッフは「生キャラ煎餅の売れ行きは予想以上。今まで以上にネット販売等に力を注ぎ、村の特産品を首都圏にアピールしたい」とイベントを振り返りました。

今回の公式入場者数は38万人を上回りました。



温泉館で ほっこり 籠づくり

1月29日、籠づくり体験ツアー（村観光協会主催）が新郷温泉館で行われ、八戸市や十和田市等から参加した7名がオリジナルの籠製作に挑戦

しました。材料はカラフルな手芸用のプラスチックバンド。講師の小坂直枝さんの指導を受けながらにこやかに作製していました。

51名が観光振興について意見交換

2月13日、美郷館において「新郷むらづくりを語る会」観光開発・体験振興部会」が開催されました。4度目の開催となった今回は観光協会、村づくり関係者、地場産品関係者等51名が参加し、これからの観光振興について共

通理解を深めました。

村長あいさつに続き、村観光協会、村ふるさと活性化公社、そば好房鬼蓮庵等7機関が平成23年度の取り組み事業について説明。県企画政策部企画調整課生業・交流グループの天間俊介グループマネー

ジャーが「青森県美知の国パワースポット・ミステリーゾーンについて」と題し、講演。観光プロモーションの課題等についていねいに指針を示しました。

村観光協会会長平葭哲雄氏は座長とした談義のテーマは「地域資源の有効活用と今後の観光振興を図るためには」。三八地域県民局若木憲悟室長

や三八上北森林管理署藤井巧森林官等は観光を通じ、交流人口の拡大と賑わいの創出について様々な意見を交換しました。

予定時間を超えた会の締めくくりとして須藤村長が「観光客に何度でも足を運んで頂

くために『おもてなしの心』を忘れずに観光振興を図っていききたい。豊かな地域資源と皆さんの知恵で多くのリピーターの育成に努めていきたい」と総評し、事業の継続へ期待を込めました。





ゲレンデに笑顔と大歓声

2月11日、スキー場まつりが金ヶ沢スキー場において開催されました。三ツ岳スポーツクラブによるこのイベントは、日頃、お世話になっている同スキー場に感謝することが目的。児童生徒や保護者、およそ80名が小雪まじりのゲレンデに歓声を響かせました。

プログラムは「しんごうcup2012スキーレース」や「まるごと新郷○×クイズ大会」「デモンストレーション」の滑走ショー」等、多彩な内容。中でも「全日本ひりょう袋そりレース」には大歓声。稲わらをいれたひりょう袋にまたがり、斜面を滑り降りてくるユーモラスな姿に選手も保護者も大きな声で声援を送っていました。

「レーシングのかつちゃ達」等による甘酒、焼きそばの屋台も大好評。子どもたちは厳しい冷え込みの中、食欲を満たしながら、ゲレンデに笑顔を振りまいていました。



全日本ひりょう袋そりレース



表彰式



炎の滑走ショー



親子人馬レース

安全で安心な暮らしの実現をめざして



2月18日、山村開発センターにおいて「新郷村安全・安心村づくり推進大会」が開催されました。村主催によるこの大会は五戸警察署や五戸消防署、村消防団等、9団体が後援。170名が住みよい地域社会の実現へ向けて決意を新たにしました。

警察官の制服を身にまとったしんごう保育園の岡田柊作さんと田島未舞ちゃんが「火遊びはしません」等と元気に

く大会宣言。畠山賢悦村消防団長の音頭により参加者全員で「ガンバロー三唱」を行い、大会を締めくくりました。

開会行事では「安全安心な村づくりを村民一体となり頑張っていくことを願う」と須藤彦美村長があいさつ。勝野隆彦五戸警察署長と東利昭議会議長がそれぞれ激励の言葉と祝辞を述べ、大会趣旨の具現化に向けて期待を寄せました。

続いて木村和雄西分遣所長らが管内の「防火・防災活動」等について講演。自らの身を守る大切さと不測の事態へ対応した備えの必要性について呼びかけました。

大会では金ヶ沢神楽が安全安心村づくりを祈願する舞を披露。アトラクションではしんごう保育園の園児たちが「ぼくたち平和守り隊」「ステキな日曜日」のおゆうぎを発表しました。



昔からの郷土料理をマスター

村観光協会は村自慢の郷土料理を発信し、地場産品の消費拡大を推進しています。その一環として、2月4日、「き

んか餅・漬け物作り体験ツアー」が村山村開発センターで行われ、三沢市や八戸市から参加した15名が郷土に伝わる



2月4日

味の作り方を学びました。講師は「しんごうむら青空会」の畠山悦子代表が務め、地元のカルミ、味噌がたっぷりと入ったきんか餅と大根の酢漬の調理方法をていねいに指導しました。

15日は「手作りこんにやく・生麴づくり体験ツアー」を実施。「朝市工房福ふく」の工藤由紀子さんから3名が素朴で懐かしく、体にやさしい味をツアー参加者16名に伝授しました。



2月15日

文芸コーナー

新郷俳句会

温泉の窓辺に愛し雪の花

福山 康子

雪しまき

小坂 良子

野仏にみかんひとつと
手拭と

鹿島 恵美子

着ぶくれて身動きにぶき
厨ごと

村上 てる

冬至越し明るくなるを
疑わず

工藤 陽一

山脈を昇る初日に祈りおり
長峯 ユリ

久しぶりの寒の雨にも
気のゆるむ

高根 リサ

満月や哀しいほどに冴え返る
車椅子並べて見やる餅の花

鹿島 とわ

朝市の大鱈まるのまま売れる
戸来 れい子

金沢 凡

お知らせ

問 問い合わせ
F ホームページ
F ファックス

豊かな老後を！

経営者だけでなく夫婦や親子でそろって農業者年金に加入することをおすすめします。
◆あなたの老後の備えは十分でしょうか？

◆年金は家族一人ひとりが準備することが大切です。

◆農業者年金は、あなたの老後をサポートします。

あなたが60歳未満の国民年金の第1号被保険者なら、年間60日以上農業に従事していれば加入できます。

問 農業委員会

TEL 78-2111

「家庭の日」とは

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族のぬくもりを通じてきずなを深めるために「家庭の日」には次のようなことをしてみましょう。

・家族みんなで話し合います。

・家族みんなで楽しみ合います。

問 青森県青少年グループ

TEL 017-734-9226

要介護認定者でも障害者控除がうけられます

介護保険係では、確定申告の時期に際し、所得税・住民税の控除をうけることができる障害者控除対象者認定書を交付します。

障害者控除をうけるためには、認定書が必要となりますので早めに申請をしましょう。くわしくは下記のとおりです。必要の方は役場厚生グループ（総合福祉センター内）で申請手続きをしてください。

問 対象者

平成23年12月31日現在、介護保険で要介護1～5に認定されていて、障害者手帳の交付を受けていない方。

問 申請窓口

役場厚生グループ（総合福祉センター内）

問 申請に必要な物

・介護保険被保険者証（オレンジ色） 印鑑

◆申請受付期間

平成24年2月10日（金）～平成24年3月15日（木）

問 認定方法

必要に応じて村職員が個別に実態調査を行い、それに基づいて認定します。

※個別に実態調査を行うため、認定結果通知までに1週間（2週間かかります）。

問 厚生グループ

TEL 61-7555

市町村税滞納整理機構が設立されます

本県では、主に市町村税における収入未済額の縮減、徴収率の向上に向けて、県内市町村、県市町村総合事務組合及び県が連携して、平成24年4月『青森県市町村税滞納整理機構』を設立します。

問 滞納整理機構とは

青森県市町村税滞納整理機構は滞納整理を専門に行う機関で、青森県市町村総合事務組合機構の職員及び県からの

派遣職員等で構成されます。

機構では参加市町村から移管された滞納者の滞納事案について、広範囲で徹底した財産調査を行い、換価できる財産を発見し、これらの財産を差し押さえ、公売することにより市町村税を徴収します。

また、厳正な滞納処分によって滞納者の納税意識の高まりも期待できます。

問 差押対象となるもの

土地、建物、給与、売掛金、自動車、電化製品、貴金属など国税徴収法で認められたあらゆる財産

問 滞納整理機構への移管対象となる方

・督促、催告に応じない方
・村税（個人村県民税、法人村民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税など）を滞納し、納税の相談や連絡がない方
・滞納額が高額な方等
お早めの村税納付にご協力ください！

問 税務グループ

TEL 78-2111

新郷村のごみ排出状況

年度	1人1日当たりの排出量(g)		リサイクル率(%)	
	県内順位		県内順位	
16	555	1	19.2	5
17	582	1	19.4	6
18	576	1	20.3	6
19	571	1	18.5	8
20	562	1	20.3	7
21	585	1	19.9	7

※一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）の数値を引用。

住民の皆さんにお願いします。

更なるごみの適正分別・減量・リサイクルへの取組に協力をお願いいたします。

問 住民グループ TEL61-7555

一般家庭の火災予防について

今年に入り、県内で焼死者を伴う住宅火災が発生しています。また、今の時期は空気が乾燥しているため、一旦火災が発生すると他に延焼拡大しやすくなります。

日頃から村民一人一人が火の元の点検を行い、住宅火災を防ぐために次のことに注意しましょう。

◆ガスコンロ、ガステーブル火を使用している時は、そ

の場から離れないようにしましょう。来客や電話などその場を離れるときは必ず火を消しましょう。

◇たばこ

寝たばこは大変危険なので絶対にやめましょう。吸殻はこまめに捨て、灰皿に吸殻をためないようにしましょう。特にガラス製の灰皿は、吸殻をためすぎると、たばこの熱によって灰皿が割れることがあります。また、吸殻は出るだけ水につけるなどしてから捨てるようにしましょう。

◇暖房器具

寒い日が続く洗濯物などが乾きにくく、ストーブなどの真上や近くに干しがちですが、万が一落下しストーブなどに触れたりすると火災になる恐れがあるので絶対にやめましょう。ストーブなどの火をつけたまま給油し、灯油がこぼれて着火した火災事例があります。給油するときは、必ず火を消してから給油しましょう。

問 五戸消防署西分遣所

TEL 78-21119

愛車の住所変更は お忘れなく

自動車税の納税通知書は、原則として4月1日現在の自動車登録に基づいて作成されています。引越し等で住所が変わったときには、運輸支局で住所の変更登録を忘れずにお願います。

3月中に住所変更登録を済ませることができない事情がある方は、お近くの地域県民局県税部までご連絡ください。

問 三八地域県民局県税部

TEL 27-51111

中小企業事業主の みなさまへ

今般、最低賃金の引き上げにより大きな影響を受ける中小企業事業主の皆さんのために、経営改善や生産性向上とともに、賃金制度・労務管理・就業規則などの見直し等の相談について、それぞれの専門家がワン・ストップで対応する無料の相談窓口を設置しました。

厚生労働省からの委託を受けて行っていますので、ご相

談内容、企業、個人情報などは厳守。安心して相談できます。ぜひご利用ください。

問 青森県社会保険労務士会

TEL 017-773-5179

シベリア強制抑留者の みなさまへ

・特別給付金を支給しています。

・請求は平成24年3月31日まで（消印有効）です。

・平成22年6月16日にご存命で日本国籍を有する方（同日以降に亡くなられた方は相続人）が対象です。

問 平和記念事業特別基金

TEL 0570-059-204

鶏等の家畜を 飼っている方へ

平成22年に口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが国内で大規模に発生したことから、

昨年、家畜伝染病予防法が改正され、これにより牛・豚・馬・鶏等の家畜を所有している方はもちろんのことペット

として鶏（チャボ、ウコッケイ等を含む）、アヒル、キジ、

ホロホロ鳥、うずら等を飼っ

ているすべての方は、毎年一回、その飼養状況などを報告することが法律で義務付けられました。定期報告の方法は次の通りですが、不明な点や報告用紙等のお問い合わせは、左記までお願いします。

◇報告の方法

飼養場所や頭羽数などを規定の「報告書」で行う。

◇報告期日

毎年2月1日の状況を4月15日（鳥類は6月15日）まで

問 八戸家畜保健衛生所

TEL 27-7415

電話帳を発行します

NTT東日本では4月中旬に順次、新しい青森県版の電話帳を各ご家庭・事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は新しい電話帳とお取替えいたしますので、配達員へお渡しください。

回収した電話帳は次の電話帳の原材料となります。

なお、ご不在時等で配達員に古い電話帳を渡せなかった場合、「タウンページセンタ」までご連絡ください。後日、改めて回収にお伺いします。

問 タウンページセンタ

TEL 0120-506-309

違法駐車はやめよう

県内では降雪により道路幅もこれまで以上に狭くなるため、違法駐車によって交通渋滞がさらにひどくなること予想されます。ドライバーの皆さん自身がルールを守ることはもちろん、事業者の方も、社員の方々が営業車で違法駐車をしないよう、指導くださるようお願いします。

問 青森県警察交通指導課

TEL 017-723-4211

インフルエンザに ご用心

12月～4月はインフルエンザ流行のシーズンです。

手洗い、うがい、外出時のマスクの着用等、予防を行うとともに、かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

問 青森県保健衛生課

TEL 017-734-9284

むらのガイド

3月

平成24年 弥生 やよい March
誕生石 ブラッドストーン(血石)
— 沈着・勇敢 —

人の動き

男 1,431人(−5人)
女 1,522人(−6人)
計 2,953人(−11人)
世帯数955世帯(−4世帯)
(平成24年1月31日現在)

二十歳になったら
国民年金

日本年金機構

燃えるごみ収集日 新郷村全域 月曜日・木曜日(祭日も収集します)
家庭ごみは収集日の朝に出して下さい。生ごみの水切りにご協力を
ごみの減量とリサイクルに取り組みましょう

予防接種相談日 毎週月曜日 正午～午後5時まで TEL 61-7555

2012年3月

日	曜	行事等	備考
1	木	特定健診(〜3日)	
2	金	資源ごみ(ペットボトル等2品目)収集日 5才児健診	
3	土	ひな祭	
5	月	新郷温泉館休館日 第2回骨粗しょう症予防教室	
7	水	第3回脂質異常予防教室	
8	木	特定健診(〜10日) 中学校卒業式	
9	金	資源ごみ(缶・新聞等5品目)収集日	
12	月	新郷温泉館休館日 行政相談	
15	木	特定健診(〜17日) 住民税申告相談最終日	
16	金	資源ごみ(ビン・ペットボトル等2品目)収集日 粗大ごみ収集日	
17	土	小学校卒業式	
19	月	新郷温泉館休館日	
20	火	●春分の日	
22	木	特定健診(〜24日)	
23	金	燃えないごみ収集日	
26	月	新郷温泉館休館日 小中学校終業式	
29	木	特定健診(〜31日)	

= 高品質農産物の安定生産のため =

有機の里づくり を推進しよう

良質堆肥で収入UP!!

有機資源センター新郷

平成21年度あおり推きゅう肥品評会

優秀賞受賞

問い合わせ先 TEL 78-3555

営業時間 午前9時～午後4時
(休日：毎週月曜日、年末年始)



こんにちは！赤ちゃんで～す

とよしま らん
豊島 蘭ちゃん

H22・8・24生

(地区) 西越

(パパ) 元

(ママ) 千鶴

パパとママのねがい

元気でやさしい子に
なってね。



ふるかわ きりゅう
古川 輝龍くん(うめ組)

雪がいっぱい降ったとき、保育園に
大きなお山ができたよ。しおんくんと
一緒におしりですべったよ。おしり
は痛くなかったけどぬれちゃった。
楽しかったよ。



たかはし るな
高橋 瑠奈さん(もも組)

ママと妹のりうちゃんと一緒におか
いものに行ったよ。おやつとジュ
ースを買って、みんなで食べたよ。とっ
ても楽しかったから、また行きたい
なあ。



ぼくとわたしの絵

(217) しんごう保育園